

漁海況 情報

令和4年(2022年)8月8日 第9号(通巻723号)

山口県水産研究センター 外海研究部

〒759-4106 山口県長門市仙崎2861-3
TEL 0837-26-0711 FAX 0837-26-1042
E-mail a16402@pref.yamaguchi.lg.jp



海鳴りネットワークURL <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

漁業調査船「かいせい」による海洋観測(8月4~5日)

◆水温評価(50m深・100m深)

深度	沖合域 ^{*1}		沿岸域 ^{*1}	
	観測値	評価 ^{*2}	観測値	評価 ^{*2}
50m	17.27 °C	平年並み	21.41 °C	やや高め
100m	12.48 °C	平年並み	17.64 °C	平年並み

^{*1} 上表の「沖合域」とは右図のSta.9およびSta.12~14、「沿岸域」とは同Sta.1・2・3・4およびSta.15~19を表す。(「観測値」とはそれらの区域における平均値を示す。)

^{*2} 評価における「平年並み」とは約2年に1回、「やや〇〇」とは約3年に1回、「かなり〇〇」とは約7年に1回、「はなはだ〇〇」とは約22年に1回程度の出現確率を示す。

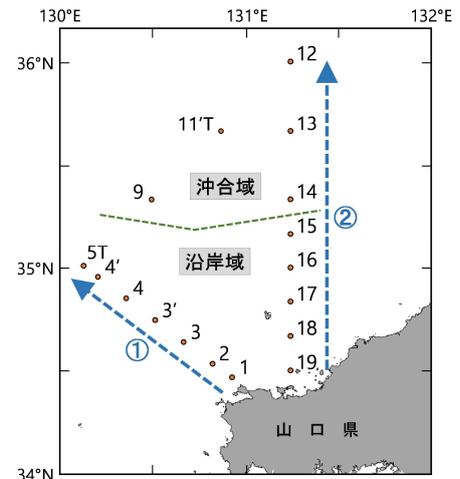
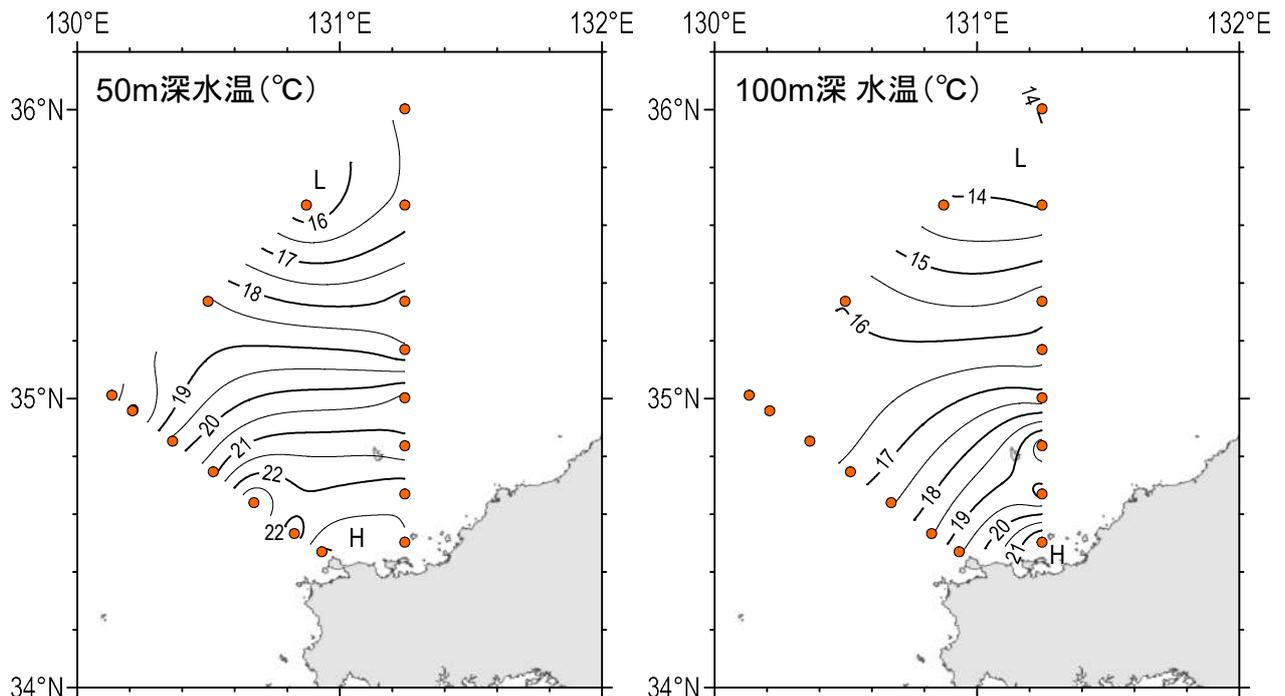
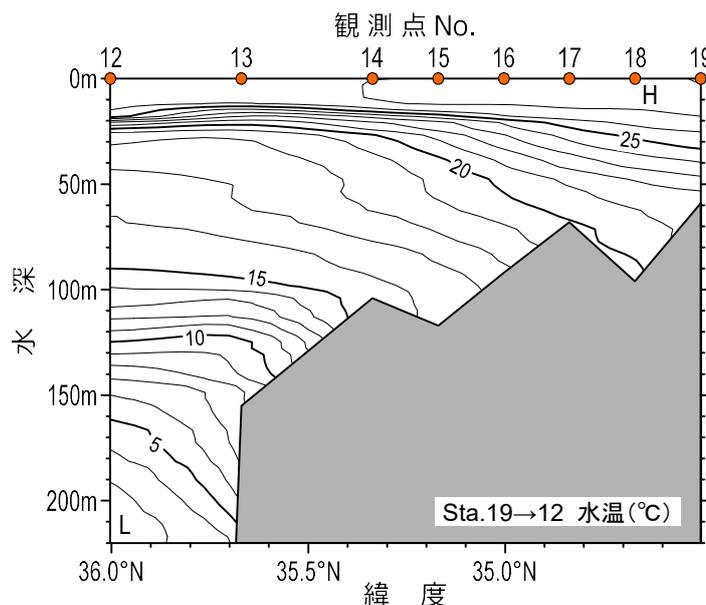
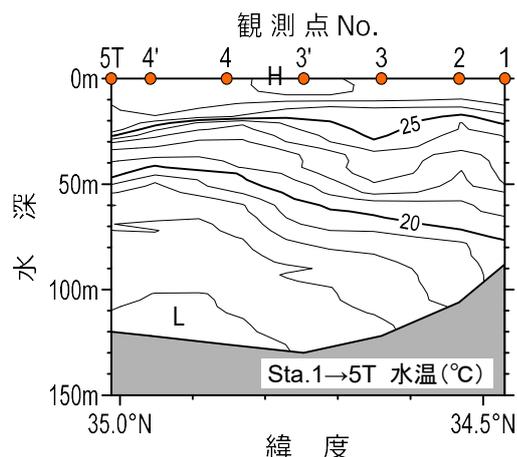


図1. 観測点の位置

◆水温の水平分布図(左:50m深, 右:100m深)



◆水温の鉛直断面図(左:①Sta.1→5T, 右:②Sta.19→12)



萩-見島フェリー「ゆりや」による表層水温観測

○現在、観測機器の不具合により、正確な観測値が得られておりません。復旧次第、情報提供を再開する予定です。ご迷惑をおかけいたしますが、もうしばらくお待ちください。

日本海スルメイカ長期漁況予報(7月29日)

○国立研究開発法人 水産研究・教育機構から「2022年度第2回 日本海スルメイカ長期漁況予報」の発表がありましたので、抜すいしてお知らせします。



○今後の見通し(2022年8~12月)

- ・西部日本海(小型いか釣り)

【近年の漁況の特徴】本海域では10月以降に沖合から南下する群が漁獲の主対象となる。ただし、近年は10月~12月の南下群の来遊が少なく、漁場が形成されにくい。

【今期の情報と予報の説明】本海域での6月の漁獲は前年を下回り、近年平均並であった。

10月以降の来遊量の目安となる日本海スルメイカ漁場一斉調査の全調査点の平均CPUEは前年を下回っており、沖合からの来遊量は前年より少ないと予測される。

以上のことから、前年を下回り、近年平均並と予測される。

* 近年:最近の5年間(2017~2021年)

○詳しい情報は、水産資源研究所のホームページをご覧ください。上記のQRコードからもアクセスできます。

